

高退協ニュース

No.230
2021年
5月11日
発行
高知協
高知退
協事務局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内2丁目1-10
高知城ホール高教組気付
連絡先 TEL 088(822)6822
郵便振替口座0165002511893



高教組も高退協も力をあわせて

第92回メーデー 高知県中央集会 2021年5月1日



思い思いのメッ
セージを込めた傘
でアピール

福島に寄り添い続ける。 原発をとめる

3・11を忘れない アクション2021

3月6日 飯田清久



「3・11 私たちは忘れな
い」の合言葉で始まった震災10
年目の集会。高知に避難して
きた家族とサポーターで構成
する「虹色くじら」のお母さん
たちがマイクを握る。「福
島に暮らし我が子を被爆させ
てしまったかもしれないと身
体が震えた」「低線量被曝は
同じ暮らしはできないと感じ
た」「水と空気がきれいな高
知にきて10年。高知で生まれ
た子どもが小学校に入學する。
大切なもの！いちばんは命。
にばんは家族。その次は友だ
ちだね」と語れる子どもも育っ
た。「国は原発事故を過去の
出来事にしようとしている」
「汚染水、汚染土、廃炉作業、
危険なことは山積み」「10年
の節目、つらい思い出に閉じ
こもりがちな気持ちを奮い立
たせて、子どもたちを守るこ
れからの日本を多くの仲間と
ともにつくっていく気持ちで
登壇した」切実な声が続く！
集会参加者は原発ゼロのスロ
ーガンを掲げはりまや橋までデ
モ行進。さらにはりまや橋交

ミモザの花の枝を手に

国際女性デー高知県中央集会

上村文香

三月八日、市役所前におい
て二〇二〇国際女性デー高知
県中央集会が行われました。
今年のテーマは、「コロナ禍、
いのち・くらしを最優先に！
世界の女性と手もつなぎ、平
和・ジェンダー平等へ！」で
各団体や取材陣も含めて二十
五名の参加がありました。

参加者は、国際女性デーの
シンボルであるミモザの花の
柄の横断幕と共に、各自がミ
モザの花の枝を手にスタンデ
ィングしました。

そして、夫婦別姓、憲法24
条、性被害等についての発言
がありました。

さらに、高知城ホールでは
国際女性デーについてパネル
展示が行われ、各団体より工
夫を凝らし分かりやすいパネ
ルが、訪れた人の興味を引い
ていました。



高知城ホールでの
パネル展示



「時の行路」を観て

宮地由美



映画「時の行路」の上映が、
4月10日(土)に高知県立美
術館ホールであり、見てきま
した。映画は昨年、上映予定
でしたが、コロナ禍で一年越
しとなったそうです。

原作は、田島一さんの小説
「時の行路」で、2008年
のリーマンショックによる美
事にあったいすゞ自動車の派
遣切りでの解雇撤回の裁判闘
争をもとにしているというこ
とです。監督は、神山征二郎
さんで、「ハチ公物語」や
「ひめゆりの塔」など社会派
の作品を生み出しています。

映画では、石里賢さん演じ
る主人公が、大手自動車会社
の旋盤工(派遣社員)として、
青森から静岡に出て単身赴任
で働いていましたが、リーマ
ンショックに端を発した非正

規労働者の大量解雇により、
職を失います。家族に仕送り
ができず、息子は大学進学を
諦めて働き、妻も体調が悪く
てもおして働くなど、経済的
なしわ寄せが来ます。自動車
会社や派遣会社の理不尽な対
応に、仲間と一緒に労働組合
に入っ、勇気をもって裁判
で闘っていきます。しかし、
裁判所は企業に有利な判決を
下してきていました。
派遣社員の立場の弱さ、裁
判を続けていく大変さ、妻の
死など、映画を見た後はハッ
ピーエンドではなかったため、
苦く哀しい思いが残りました。
しかし、それだけ「派遣切り」
の問題は、過酷で深刻だと訴
えていると思えます。主人公
が家族から、裁判はやめて郷
里に帰って来るように言われ
ますが、今の自分たちだけの
問題ではなく、未来に続く人
たちのためでもあると言っ
ていたのは、希望が持てる言葉
であり行動だったと思えます。
また、家族の絆、労働組合や
弁護士さんなど連帯できる仲
間がいることも強い支えとなっ
ていたと思えます。
神山監督が上映当日の舞台
挨拶の中で、「日本は劣化し

高退協 定期総会

5月29日(土) 13:30~15:30
高知城ホール
受付 13:00~
※13:00~13:30のあいだに「ピキニの
海は忘れない」(DVD約20分)を上映
します。

哀悼

戸田泰輔さん
2020年7月13日逝去
浜田昌俊さん
2021年3月31日逝去
謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。